

報告事項1（30.4.24理事会承認済）

平成29年度事業報告について

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

平成30年4月24日開催の第1回理事会において承認を得ました事業報告について、次のとおりご報告いたします。

1. 事業概況

昨年日本経済を振り返ってみますと、米国や中国、欧州等の世界経済の回復を背景に、生産活動の持ち直しが続き、実質GDPは7四半期連続でプラス成長となりました。円安進行に加え海外需要が改善したことで、スマホや自動車向けの電子部品、ロボットなどの自動化・省力化機器を中心に輸出が拡大し、輸出企業の収益を押し上げました。景気回復の中で低金利が続いたこともあり、年末近くの日経平均株価は22,000円超とバブル崩壊後の最高値を更新し、為替相場も110円前後で安定的に推移しました。

新年の日本経済については、緩やかな回復基調が続くものと見られますが、北朝鮮や中東等での地政学リスク、欧米での金融緩和からの出口戦略の行方、不動産バブルが懸念される中国経済の減速等が世界経済の下振れ圧力になる可能性もあります。

国内においては、雇用情勢の持ち直しが続く一方で、人手不足が深刻化しており、経営への悪影響が懸念され、収益改善の足かせとなっている面もあります。また、自動車業界での電気自動車化への動きに対して、すそ野の広い自動車部品関連企業がいかに対応できるかも今後の課題となります。

このような中、当法人会では、税務ご当局、税理士会の諸先生方、関係団体の皆様からの多大なるご支援とご協力を仰ぎながら、会員が一体となって組織の拡充・強化に努めておりますが、一方では退会を余儀なくされる会員も少なくなく、昨年12月末の会員数は目標の3,170社に対し3,168社、加入率は32.9%という結果になりました。

一方、研修関係では、法人会の基本的指針であります「健全なる納税者団体」および「税のオピニオンリーダー」たる経済団体との認識に立ち、会員皆様の自己啓発を支援し、実務研修、税務研修等の各種研修会を開催、また企業経営および健全な社会形成のお役に立てるよう各種事業を活発に推進して参りました。

2. 総務関係

当会の長期的な地域社会貢献活動として、平成29年度も、大宮障がい者施設連絡会を通じて、市内の福祉施設を紹介いただき物品の寄贈を行いました。そして、例年各位のご協力を頂いている定時総会および新春賀詞交歓会での募金は、大宮障がい者施設連絡会の運営にお役に立て頂きたく、それぞれ贈呈を致しました。

また、本年度も公益社団法人へ移行後、公益法人の実情に合った諸規程、規則、会則等の新規制定および改定を積極的に行いました。

3. 組織関係

当会では、昨年に引き続き組織の拡充・強化のために、未加入法人、新設法人、転入法人に対して、各支部との連携の下に推進活動を展開して会員増強に努めました。さらに税理士会の諸先生方、金融機関、厚生制度提携先の皆様方にご協力をいただきながら、

全員一丸となって会員加入勧奨を強力に推進したところであります。

その結果、期末現在の会員数は3,127社と残念ながら、前年比△9社になりましたが、数年前の逡減数に比べ減少幅が少なく、加入率は32.5%となっております。

青年部会につきましては、次代を担う経営者として広く交流を図る目的を持って部会員の増加に努めたほか、部会員の参加意識の高揚、事業活動の充実を図るために委員会制で対応し、会員相互の親睦や社会貢献活動・租税教育活動は更に活性化しました。

特に、租税教室は税理士会大宮支部と共催で旧大宮市内の中学校・高等学校を訪問し、「税金教室」を実施しました。

期末部会員数 73名

女性部会につきましては、勉強会「女性大学」を年5回開催し、活発な活動を展開しております。秋の公開教養講座では、「クリスマスリースを作ってみませんか?」と題し、講座を実施。また、春の教養セミナーでは、女性部会・青年部会合同で、「脳卒中、その時どうすれば?その治療と予防」をテーマに、さいたま市民医療センターの救急総合診療科科長の坪井謙医師の公開講演会を実施しました。更に、29年度は一昨年から開始致しました旧大宮市内の小学校6年生を対象に、第3回目「税に関する絵はがきコンクール」を行い、28年度の応募総数を上回る1,404枚の応募を戴き、平成30年3月1日に優秀作品の表彰式を執り行いました。そして、今回の入賞1作品が埼玉県と関東信越ブロック大会でも第1位となり、全国大会に出展されることとなりました。

期末部会員数は 42名

イ. 法人会会員数ならびに加入率 (平成30年3月31日現在)

会員数 3,127社 (内平成29年度新規入会社数148社)
加入率 32.5%

ロ. 支部別会員状況

(単位 社・%)

	第1支部	第2支部	第3支部	第4支部	合計
会員数(社)	762	1,052	713	600	3,127
加入率(%)	33.3	32.0	33.7	31.2	32.5

ハ. 会員状況の推移

(単位 社・%)

	平26.12	平27.12	平28.12	平29.12
法人数(社)	9,292	9,348	9,527	9,621
会員数(社)	3,223	3,174	3,165	3,168
加入率(%)	34.7	34.0	33.2	32.9

4. 研修関係

当会は、「健全なる納税者団体」また「よき経営者をめざすものの団体」としての認識を持ち、会員企業にとって実際に役立つ各種研修会を行って参りました。

比較的に新しい事業である4月の「ビジネスマナー講座」と11月の「年末調整講座」は申込者が多く好評につき来年度以降も実施して参ります。

税務研修においては、大宮税務署と税理士会の協力を頂き、改正税法についての研修、

法人税・消費税の研修および新設法人に対する税務説明会を実施。また企業経営者・幹部社員および経理担当者に対する簿記講座、社会保険・労働保険の基礎講座、パソコン研修会、キャッシュフロー計算書の作り方・活かし方等数多くの研修会を実施しております。更に、「公開税務相談（費用無料）」の案内は、さいたま市の広報誌にも掲載しており相談者が増加していることから、この事業にも積極的に取り組んで参ります。

5. 税制関係

イ. 税制改正に関する提言

税制改正に関する提言については、税制改正要望アンケートをより多くの会員の意見を反映させるため、平成20年度から対象を全会員に拡大して実施しておりますが、29年度も県連がアンケート集計結果に基づき、30年度税制改正に関する要望を取りまとめ、全法連に提出しました。

平成29年10月5日に開催された「第34回法人会全国大会・福井大会」で税制改正に関するスローガン、大会宣言、平成30年度税制改正に関する提言が採択されました。当会では、平成29年11月28日に、この税制改正に関する提言書を地元選出の国会議員枝野幸男事務所を訪れ提出し要望活動を行いました。

ロ. e-Taxの推進

各委員会や理事会の都度、参加者にe-Taxの利用を依頼したほか、税理士会のご協力により顧問税理士による代理送信等により、利用率の向上に努めております。29年12月末現在、県下15単位会の中10位となっております。今後、ダイレクト納付と併せて、積極的に声掛けし利用率の向上を図り、グループ上位を目指して参ります。

ハ. 税務行政関係

理事会、委員会、支部役員会等に税務当局、税理士会の積極的な支援を得て、税務および経営についての知識向上を図りました。当会の組織基盤の強化についても、会員の加入勧奨に対する増強対策と税務行政に関する指導を頂くとともに管内納税協力団体として、連携強化を図ることができました。

6. 社会貢献関係

(1) 税の啓発活動

「税を考える週間」行事の一環として、大宮税務連絡協議会の後援を得て、11月13日（月）に清水園において、講師にキャスター、アナウンサーの吉川美代子氏を迎え、公開講演会を開催しました。当日は非会員を含め参加者が114名と盛況で、テーマは「話す力・生きるエネルギー！」と題し、ご自身のアナウンサーの育成や仕事を通じて教えてきたことは、正しい発声や姿勢からコミュニケーション力を高められること。更にマナーを徹底し気持ちを込めることが重要である等、大変興味深い内容でした。講演会に先立ち、山田大宮税務署長から「税を考える週間」として、税についてのお話を頂きました。

また、本年も29年7月に青年部会が大宮税務署、税理士会大宮支部他と共催でさいたま栄東中学校の生徒360名を対象に租税教室を開催。平成30年2月9日には大宮開成高校3年生70名、2月23日にクラーク記念国際高等学校の1、2年生200名を対象に租税教室を実施しました。

(2) 福祉施設への寄贈

昨年に引き続き、大宮障がい者施設連絡会を通じて、加盟している市内の福祉施設を紹介いただき、物品の寄贈をいたしました。この事業は平成8年から続く息の長い継続した活動であり、今後もお役に立てる活動を行なって参ります。

7. 広報関係

大宮法人会の情報誌「法人大宮」の内容充実を図るため、25年度から四季報として年4回発行へ改訂しましたが、会報表紙の刷新を図るべく27年度から、「アクラス画」で世界的に著名な大野 剛正氏による絵画で表紙を飾り、大変好評となっております。

また、従来から実施の視覚障害者福祉協会の事務局会員宛デジタルデータの提供も行なっております。

8. 厚生関係

福利厚生事業の推進につきましては、厚生委員会、福利厚生制度連絡協議会において推進策を協議し、「経営者大型総合保障制度」をはじめ「ビジネスガード」「がん保険制度」のPRを厚生制度提携先各社と協調し、推進して参りました。

29年度からは「福利厚生制度2年2万社純増運動～ふやそう2万社GOGOキャンペーン」が開始され、会員企業の福利厚生面の強化と法人会の財政基盤の更なる拡充を目指して参ります。

イ. 大型保障制度推進状況（大同生命保険株式会社）

大型保障制度加入状況			平成29年度 新規加入企業	
項目	平成29年3月末	平成30年3月末	目標	実績
会員数	3,136社	3,127社	31社	22社
加入企業数	722社	726社	達成率	70.9%
加入率	23.0%	23.2%		

ロ. ビジネスガード（AIG損害保険株式会社）

項目	平成29年 3月末	目標	実績	達成率	平成30年 3月末
加入企業数	442社	462社	481社	104.1%	481社
加入率	14.1%	—	—	—	15.3%

ハ. がん保険（アメリカンファミリー生命保険会社）

項目	平成28年 12月末	目標	実績	達成率	平成29年 12月末
新契約AP	18,764千円	20,000千円	14,375千円	71.8%	14,375千円
加入企業数	446社	—	—	—	452社
加入率	14.2%	—	—	—	14.5%